



Group 1

医学修学研修資金利用者の皆さん11人

【セッション1】松竹先生・増田先生

- Q 現在1年生で診療科をまだ決めていません。どのように決めましたか。
- A (松竹先生) 学生時のポリクリが、臨床研修の際に決めると良いのではないかと思います。私は診療科への興味に重点を置いて決めました。人の雰囲気も見ておくと尚良いと思います。
- (増田先生) 臨床研修2年目で、今まさに悩んでいます。診療科への興味で決めたいと思っています。
- Q 私は東京出身で東京の大学に通っているため、静岡に馴染めるか不安です。
- A (増田先生) 私も大学、出身ともに静岡県ではありませんが、全く問題なく勤務できています。

【セッション2】吉岡先生・森田先生

- Q 家庭医に興味があります。具体的にどのような仕事をしているのでしょうか。
- A (吉岡先生) 現在専門研修の2年目で、クリニックに週1日勤務しています。残りの週4日は近隣の大きな病院で複数の診療科を回っています。加えて、週2回在宅(当直)の当番もあります。訪問診療や子どものワクチン接種など幅広く行っています。
- Q 医局へ所属することについてどう思われますか。
- A (森田先生) 私は浜松医科大学の医局に所属しています。医局の関連病院で勤務することになりますので、完全にアウェイになることはなく、安心してローテーション勤務ができています。入局のデメリットは現時点では感じていません。

【セッション3】松永先生

- Q 公立森町病院の雰囲気を教えてください。
- A 御高齢の患者さんが多くいらっしゃいます。森町にある唯一の病院で、幅広い外来診療を行っています。まさに「地方の病院」で、周りの病院と連携して治療を行っています。
- Q 家庭医として勤務するに当たって、心掛けていることはありますか。
- A 外来診療では患者のニーズをきちんと把握し、患者の価値観に沿った治療を提供することを心掛けています。

【セッション4】清塚先生・内田先生

- Q 学生時代にやっておいてよかったことはありますか。
- A (清塚先生) 部活でも遊びでも良いので横のつながりを作ることが大切です。
- (内田先生) 英語が出来る医師はかなり有利だと思います。論文を原文ですらすら読めると良いですね。
- Q 病院見学の際に見ておいた方が良いところを教えてください。
- A (清塚先生) 研修医と上の先生方との関係でしょうか。いかに研修医が自主的に動くかを見ておくべきです。
- (内田先生) 静岡県全体で臨床研修に力を入れています。研修医の目が曇っていると忙しい病院、目がキラキラしていると研修医を支える体制が整っている病院ですね。



Group 2

医学修学研修資金利用者の皆さん12人

【セッション1】吉岡先生・森田先生

- Q 家庭医に興味があります。総合診療の魅力が知りたいです。
- A (吉岡先生) 内科的、外科的、皮膚科的なことなど、困っていることに対してなんでも対応します。対象を絞るよりも、いろいろ診ることができた方が楽しいと思いました。
- Q 市中病院の魅力と医局へ所属することについてはどのようにお考えですか。
- A (森田先生) 市中病院の良さは、患者数が多く、患者さんのバリエーションが多いこと。また、当直も、大学病院と違い、内科医外科医病院総出で行うことで実践的な経験ができています。

【セッション2】松永先生

- Q 松永先生は伊東市民病院で臨床研修をされたということですが、医師が少ない地域と聞いています。そのような地域の病院に何か特徴はありますか。
- A 診療科が完全には揃っていない苦労がありました。例えば、心筋梗塞の患者は順天堂大学附属静岡病院にお願いすることになります。一方で、「内科」も細かく分かれておらず、幅広い症例を経験でき、手技も身につきました。
- Q 公立森町病院で専門研修を行うこととした理由を教えてください。
- A 伊東市民病院に内科医として残ることも考えましたが、より幅広く経験を積みたいとも考えていました。そうした中で家庭医養成プログラムのことを知り、興味を持ちました。

【セッション3】清塚先生・内田先生

- Q 今の診療科を選んだ理由は何でしょうか。
- A (清塚先生) 手術に興味がありました。泌尿器科は、外科的な要素に加え、カメラを使う内科的な要素もあり、魅力を感じました。
- (内田先生) 学生の時に様々な診療科を回り、良くしてもらった先生が神経内科だったというのがきっかけです。
- Q 臨床研修病院の選択に当たって、重視したポイントはありますか。
- A (清塚先生) 内科・外科それぞれの救急チームがあって、勉強になると思いました。
- (内田先生) 救急外来で積める経験が多く、労働時間とのバランスも良かったです。

【セッション4】松竹先生・増田先生

- Q 学生のうちにやっておくべきことを教えてください。
- A (増田先生) 工事現場で3年間アルバイトしていました。学生時代でしかできないことをやっておくべきだと思います。
- (松竹先生) 部活をメイン(サッカー部)にやっていました。部活やサークルにはいろんな人がいます。いろんな人と関わることが、仕事を始めて生きてきます。
- Q 専門研修はどのように選びましたか。
- A (松竹先生) 学生の頃から整形外科に興味があり、臨床研修を経てもそれは変わりませんでした。
- (増田先生) 外科にするか消化器内科にするか、今いる病院の医局に入るか、出身大学の医局に入るか、ちょうど今考えているところです。



Group 3

医学修学研修資金利用者の皆さん12人

【セッション1】松永先生

- Q 総合診療の中で、現在所属しているプログラムを選択した理由ややりがいは何でしょうか。
- A 県内の総合診療プログラムの中でも、歴史が古く、所属者がたくさんいます。普段は、週1回クリニックで外来診療をし、他院で研修や診療を行っています。周産期から終末期まで関わることができるのが魅力です。
- Q 臨床研修から静岡県で勤務した方が良いでしょう。他県での研修は考えましたか。
- A 2年間という期限付きで好きな所に行ける機会なので、県外の病院も検討しました。しかし、専門研修以後のための人間関係作りや情報収集のしやすさを考え、伊東市民病院に決めました。

【セッション2】清塚先生・内田先生

- Q 学生の時にやっておいて良かったと思うこと、やっておけば良かったと思うことはありますか。
- A 体力づくりと趣味づくりは、やっておいて良かったと思います。仕事の気分転換のために趣味は大切です。やっておくと良いことは、英語の勉強です。専門医取得の際の情報収集は英語の論文が主流です。
- Q 臨床研修先はどのように選びましたか。
- A (清塚先生) 島田市民病院のプログラムには、他の病院にはない腹部エコー、心エコーがあり、魅力を感じました。
(内田先生) 浜松市や静岡市の病院も見学しましたが、地元の病院にしました。

【セッション3】松竹先生・増田先生

- Q 医局の意向と県の勤務先調整とを両立することは可能ですか。
- A (松竹先生) 定員増枠で貸与を受けており、浜医の医局に入局したので、県の示す勤務先と医局人事とがぶつかることはありませんでした。
(増田先生) まさに今、専門研修プログラム選択に当たり、その点について考えているところです。それぞれ、貸与枠と勤務条件について事前に確認した上で、キャリアを考えておくとよいと思います。
- Q 医局派遣のある大学以外の出身の場合、研修等において院内で肩身の狭い思いをするのではないかと心配しています。
- A (増田先生) 当院では、出身大学や医局に関係なく、皆おおらかに受け入れ、接してくださっています。

【セッション4】吉岡先生・森田先生

- Q 学生時代にしたことや印象に残っていることを教えてください。
- A (吉岡先生) 学生時代に様々なアルバイトを体験し、地域の人、様々な人々と出会ったことが、様々な患者さんを相手にする現在の総合診療の仕事に活かしていると思います。
- Q 女性医師の働きやすさやワークライフバランスはどうなのでしょう。
- A (森田先生) 女性医師でも当直免除ということはないので、時には体力的にきつい仕事をしなければならぬこともあります。一方で、女性患者への対応等、女性医師が重宝される場面もあります。ワークライフバランスでいうと、外来のみ受け持ちで時短勤務をしている方もおり、若手医師が体力仕事をカバーしています。しかしその分、時短勤務の方が日中に研修会や指導を行ってくれることもあり、女性だからキャリアと家庭との両立ができないという印象はありません。やらなければいけないことは自身の出来る範囲でやり、得意なことを更に頑張ればよいのではないかと思います。



Group 4

医学修学研修資金利用者の皆さん11人

【セッション1】清塚先生・内田先生

Q 医局への所属について教えてください。

A (清塚先生)私は県のプログラムに入っており、医局には入っていませんが、県内には浜松医科大学や順天堂大学等、大規模な附属病院がありますね。
(内田先生)浜松医科大学の医局に入っています。山梨大学(質問者の出身大学)の関連病院は県内にもあったと思います。

Q 臨床研修で気をつけることはありますか。どのくらい忙しいのでしょうか。

A (清塚先生)深く学べる科とそうでない科があるので、一般的な知識を身につけると意識で取り組むべきだと思います。循環器内科等の緊急性が高い科は忙しいと思いますが、今後のために体力を付ける期間として割り切りましょう。
(内田先生)救急外来は忙しいですね。ただ、1年目は疲れないように病院側から配慮があるはずですよ。日本全体で研修医の忙しさが問題になったこともあったので、改善傾向にあると思います。

【セッション2】松竹先生・増田先生

Q 病院によって1年目の給与が違うのはどうしてでしょうか。

A (増田先生)私も給与を考慮して病院を選びました。概ね医師少数区域の病院の給与は高いのではないのでしょうか。給与と研修の質を両立した病院選びのため、病院見学も大切です。
(松竹先生)病院の大変さで変わると思います。医師数やスタッフ数が少ない病院は高給になる傾向があると思います。先輩に聞いてみるのもいいですね。

Q 増田先生は県外出身ということですが、富士市はどんな地域でしょうか。

A (増田先生)生活に不便さはありません。釣り等のレジャーも楽しめます。

Q 松竹先生は出身も勤務地も県内ですが、どんな魅力があると思いますか。

A (松竹先生)穏やかで暮らしやすいですね。患者とのトラブルも少ないのではないかと思います。都会の病院には無い良さがあります。

【セッション3】吉岡先生・森田先生

Q 静岡県で勤務して驚いたことはありますか。

A (吉岡先生)婚姻届を出した際に急須のセットをもらいました。

【セッション4】松永先生

Q 総合診療と家庭医療科は、どんな点が違うのでしょうか。

A 総合診療科は診療する環境(都会なら都会に、田舎なら田舎に)に対応しながら診療するというものですが、家庭医療科は、周産期から終末期まで、すなわち「子宮の中から天国まで」をテーマに診療を行っています。